

一歩ふみだせ わいわいキャンプ(ボランティア自主企画事業)

1. 事業の概要

○ 事業の趣旨

参加者が他者との対話を繰り返し、そこで生まれた意見を活動に取り入れ実践することで、各自の考えや自他の存在を尊重する意識を養う。

○ 実施期間

平成30年12月15日(土)～平成30年12月16日(日) 1泊2日

○ 対象者・参加者数(人数/定員)

小学4～6年生 (49名/70名)

○ 活動プログラム

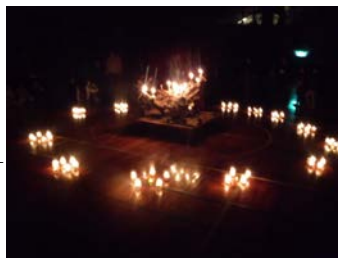
	12月15日(土)	12月16日(日)
午前	9:30 送迎バス 出発	あさのつどい 朝食 仲間と一緒にウォークラリーチャレンジ
午後	受付 昼食 はじまりのつどい 世界に一つ!オリジナルキャンドルづくり タベのつどい	昼食 おわりのつどい 14:00 送迎バス 出発
夜	夕食 輝け想い★キャンドル de ナイト 入浴・就寝	

2. 活動の様子

<1日目>

アイスブレイクで緊張をほぐして班の友達と仲良くなった後、森へ入り、キャンドルの材料を集めた。世界で一つだけのオリジナルキャンドルを完成させるために、木の実や木の葉、小枝や石などを集めて自分の容器に配置し、ジェルワックスを封入した。

夕食後はそのキャンドルを用いてのキャンドルファイアーを行った。ボランティアリーダーと一緒に大きな声で歌い、様々なゲームで楽しんだ。



<2日目>

所内いたるところに仕掛けられたミッションブースを回るウォークラリーを行った。時間内に回りきれないほどのミッションブースが配置されているので、各班それぞれが作戦を立ててからスタートした。効率よいルートを選ぶ班、移動距離が長くても高得点を狙う班、得点を小さくコツコツと積み上げていく班と、それぞれの班の個性がみられた活動となった。



3. 事業の成果と課題

○ 参加者の感想

- ・キャンドルのざいりょうをみつめるのにもくろうしたし、かざるのもくろうしたけど、作った後のキャンドルファイアはとてもきれいだったのですっきりしました。
- ・キャンドル作りはいろいろな植物をとりながらきれいにできてよかった。
- ・このキャンプをとおしてたくさんの仲間と交流を深めることができました。最初のほうはあまりだれとも話さなかったけど時間がたっていくと少しずつみんなと仲良くなることができました。
- ・ウォークラリーはいろいろな意見を出しながらできた。
- ・ウォークラリーで自分の意見がみんなに言えたところがよかった。
- ・

○ 事業の成果

- ・室戸ボランティアリーダーが6か月の時間をかけて作り上げた自主企画であった。参画するボランティアが時間をかけて一つずつ段階を踏みながら企画立案から当日運営まで行うが、これまでの活動経験や蓄積された引継ぎ資料が活用されることで、内容が洗練されたものとなった。

○ 事業の課題

- ・別事業との日程調整のため、開催期日が二転三転したことでボランティアリーダーに大きな負担をかけた。所内での「ボランティア自主企画」への位置づけが曖昧となってしまったことが主因としてあげられる。冬の自主企画は初めて大学1、2回生が主体となって行う事業のため、これまではハード、ソフトの両面で最大限の支援をしてきたが、本年度は受け入れ態勢を十全に整えることができなかった。種々の事情や制約はあるが、ボランティアが最大限の力を発揮できる環境を整えるための理解が必要であると考え。